

目地プロテクトシール 施工手順

① ~ ⑥ 準備工

⑦ ~ ⑮ 本施工

① 施工前



② 除草・抜根



イネ科などの強雑草が生えている場合は、抜根を行います。

③ 目地穴モルタル充填



除草・抜根後の目地穴を、モルタル等で充填します。
イネ科などの強雑草が無く、抜根後の目地穴幅が2cm以内の場合は、現場の判断により充填をしなくても可。

④ ヒビ割れモルタル補修



ヒビ割れ箇所より雑草が出てくる事がありますので、モルタル等により補修を行います。

⑤ 目地穴補修完成



確実に硬化するまで専用プライマーは塗布しない。

⑥ マスキングテープ貼り



専用プライマーが、目地シールからはみ出ないように、塗布幅に合わせテープを貼ります。

⑦ プライマー塗布面の清掃



水分・砂・ホコリ等を完全に除去します。(除去が不完全ですとプライマーの性能が低下します)

⑧ 専用プライマー塗布



厚塗り・薄塗りに注意し、均一に専用プライマーを塗布します。

⑨ マスキングテープ剥がし



専用プライマーが乾いてから剥がします。

⑩ 目地シール貼り付け面の清掃



水分・砂・ホコリ等を完全に除去します。(除去が不完全ですと目地シールの性能が低下します)

⑪ 目地シール貼り付け (トーチ使用)



トーチにて均一に炙りながら接着します。(貼り直しは目地シールの性能が低下します)

※トーチを使用しますので火気には御注意ください。

⑫ 転圧



炙って裏面が溶けているうちに、靴底やローラーなどで転圧をし、確実に密着させます。

⑬ ヘラにて最終チェック



炙り残しが無いかヘラにて最終チェック。

⑭ 小型トーチにて仕上げ



最後に接着されていない箇所は小型トーチ等で仕上げます。

⑮ 接着目安



下層の改質アスファルトが溶けて端部から少しはみ出る程度が目安です。

⑯ 施工完了



目地プロテクトシール 施工上の注意点

● プライマーの乾燥具合



乾燥してから御使用下さい

×



プライマーが手に付く

○



プライマーが手に付かない

● シールの炙り具合



裏面のフィルムは完全に溶かす

×



完全に溶けていない状態

○



サンプル上部の様に溶かす



○完全に炙った状態

×

炙り不足



炙り不足による剥がれ



ドロドロと溶けるまで炙る

フィルム下の改質アスファルトまで溶かす

● おすすめの貼り付け方



①



②



③



④

①スタート ⇒ ②炙り ⇒ ③貼り付け ⇒ ④転圧 の順番で貼り付けます。

※ ②の時、小型トーチの場合は 40 cm～50 cm、大型トーチの場合は、50 cm～80 cm スパンで炙って③へ。

※ ②③④を繰り返す。(②③で 2 人 + ④で 1 人 = 計 3 人居ると作業効率が良い)

● 注意事項！！

※ プライマー塗布前、シール貼り付け前は、必ず砂埃の清掃を行って下さい！

※ 均一に、炙り残しが無いようお願い致します。炙り後すぐに貼り付けて下さい！

※ 転圧は、貼り付け後シールが熱いうちに行ってください。特に端はローラーなどを使って確実に！

※ 最終、炙り残しによる接着不良ないかチェックをお願いします！

(施工直後は熱によって接着しているが、完全に炙っていない箇所は冷めると剥がれてしまう)

※ 炙りすぎると穴が開きますのでご注意ください！